

社会教育研究部門

「教育と公共」研究部会（第10回）

日時：2020年1月10日（金）13:00～16:00

場所：野間教育研究所 2F 閲覧スペース

出席：浅井幸子・上野正道・狩野浩二・仲田康一・藤井佳世 各兼任研究員
吉久知延所長・金沢千秋・川上智子

欠席：田嶋一兼任研究員（体調不良）

内容：（1）上野正道研究員の報告：共同翻訳中の本（*Obstinate Education:Reconnecting School and Society*, Sense Brill, 2019）の内容について紹介（2020年秋？に東大出版会より出版予定）

◆ガート・ビースタにおける教育と公共

第1章／Response or Responsible? Democratic Education for the Global Networked Society

第4章／Critical Thinking and the Question of Critique:Some Lesson from Deconstruction

第7章／Transclusion:Overcoming the Tension between Inclusion and Exclusion in the Discourse on Democracy and Democratisation

【感想・議論】

- ・いかなる教育がグローバルネットワーク社会において必要か
- ・「考えることの再発見」「Teachingの再発見」について
- ・Obstinate Educationへの言及
- ・「主体」「主体化」という言葉が多く出てくる
- ・責任ある応答（Responsible）について
- ・宗教との関係は論じていない

（2）田嶋一研究員の研究報告は、次回以降とする

・次回研究会は、2020年2月21日（金）10:00～。浅井・藤井研究員の報告予定